

会報

# ふれあい

第33号

令和5年(2023年)1月発行

南部町老々連

令和4年度 老人福祉週間

## 講演会・芸能大会

南部町老人クラブ連合会



鴨部笑友会

(関連記事 4～5面に)



(講演) ピロゴヴァ マリーナさん  
ウクライナ出身

老人福祉週間行事

## 「講演会・芸能大会」

4.9.29(木)

(ふるさと交流センター)

南部町老人クラブ連合会  
電話 0859-66-2766  
南部町社会福祉協議会内  
電話 0859-66-2900

### 老人クラブ三大目標

**健康づくり**

すこやかな暮らし

**友愛活動**

なかまづくり

**奉仕活動**

ボランティア活動

「ごあいさつ」



会長  
庄倉 三保子

新年明けまして  
おめでとうございます。

日頃より南部町老人クラブ連  
合会の活動にご理解、ご協力頂き  
ありがとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスも  
少し落ち着きを取り戻したかの  
ように見えました。年末に向か  
い第8波の到来かと心配してお  
ります。

その中でも、運動会は残念なが

賀  
春

令和5年 元旦



(書) 天津百寿会 大塚 賢一  
(絵) 米子プリント社 提供

ら中止としましたが、計画してい  
たグラウンドゴルフ大会、ウオー  
キング大会と順調に遂行が出来  
た事は日頃から皆様がコロナに  
対しての感染対策をされている  
賜物です。

中でも講演会・芸能大会では、  
ウクライナ出身(北栄町在住)の  
ピロゴヴァ・マリーナさんを講師  
に迎え「ウクライナ情勢及び歴史  
について」を演題に、今なお続い  
ているロシアのウクライナ侵攻  
で現在の状況や家族、友人たちの  
身近に起っていることを話して  
頂き改めて戦争の悲惨さを実感  
しました。芸能大会では、46人の  
出演者が歌や踊りを披露し、楽し  
い時間を過ごしました。

歳を重ねるにしたがって、認知  
症の患者数は急増し、高齢者の3

人に1人が予備軍だそうです。  
そこで認知症にならないため  
の10カ条(杉山孝博(川崎幸クリ  
ニック院長))を紹介します。

1. 生活習慣病を予防・治療する  
2. バランスの良い食生活で健康  
を保つ

3. よく歩き、運動する

4. 過度の飲酒・喫煙に注意する

5. 活動・思考を単調にしないよ  
うに努める

6. 生きがいをもつ

7. 人間関係を普段から円滑にし  
ておく

8. 健康管理は自分で

9. 病気や障害の予防や治療に努  
める

10. 寝たきりにならないよう心掛  
ける

以上のように第一は運動を行  
うこと、第二に食事に気を付ける  
こと、第三に社会的な活動に参加  
することが挙げられます。まさに  
老人クラブの活動そのものです。

多くの方に参加していただい  
て、認知症の予防に役立ててほし  
いものです。

昨年は高姫老人クラブの加入  
がありました。有難うございまし  
た。今年はずっと沢山のクラブお  
よび会員の数が増えるよう願っ  
ています。

続いて今年1年も、よろしくお  
願いいたします。

謹賀新年

役員一同

会長 庄倉三保子  
副会長 原 和正

顧問 小倉 栄子

顧問 安達 幸男

監事 井上 武

理事 佐伯 稔

総務委員 左記14名※

保健委員 野口 賢治

委員 大塚 賢一

文教委員 潮 昭弘

女性委員 小倉 栄子

若手委員 細川 民治

会計 野口 昭男

事務局長 垂水 英俊

(任期 令和3~4年度)

※各単位クラブ会長

吉木 邦雄 田浪 照雄

亀尾 公美 種 治孝

前田 慎三 井上 武

内田 美計 垂水 英俊

新井 将司 福井 顕雄

佐伯 稔 岡田 久男

玉木 久之 雑賀 藤重

## 新年ご挨拶



南部町 副町長

どえ かずみ  
土江 一史

新年明けましておめでとугоざいます。高齢者の皆様にも平素、町行政に関し何かとご支援をいただいております、厚くお礼を申し上げます。私こと

副町長に就任して約三年、町の課題はいろいろありますが、やはり少子高齢化が一番の問題だと考えております。

南部町の子育て施策は充実していると評価されるようになっていますが、一方で未婚、晩婚が多いという特徴があります。

子育ての前に、良い出会いが必要です。「近所の仲人さん、お節介さんが復活し、町内にカップルが続々誕生！」を今年の初夢にしたいと思います。

では皆様のご健勝をお祈り申し上げます。今年が良い一年でありますように。

南部町「再活の町」実現のため町行政も皆様と一緒にがんばっていきます。どうかよろしくお願いいたします。

「講演会・芸能大会」は南部町老ク連の重要行事として長年親しまれてきました。この行事が始まった当初から参画され、発展に尽くしてこられた岡野信夫さんがご勇退に当たり、その想いを寄稿されました。

## 芸能大会の思い出

前 文教委員長

岡野 信夫

(東西町万寿会)

私が西伯町老人クラブの会員になったのは、平成13年の60歳の時でした。入会、即、芸能大会の司会役を頼まれ、どうすればよいのか手探りのスタートになりました。

田子健次さんとの「デコボコ」司会コンビ、音響・野口勝樹さんはじめスタッフの皆さんとの「手作り舞台」。蓋を開けてみれば、40組以上の出演者の皆さんが3時間あまり、得意のカラオケや踊り、コーラスなどを披露し、お客様の拍手喝采で絶好調でした。

その日は、午前はゲストの講演会を開催し、昼は女性部の心こもったカレーライスを美味しく頂き、朝から1日、盛り沢山で楽しくスタートできたのが

本当に良い思い出です。

あれから20年。おかげで評判も良く、これまで連続で続いてきました。司会役もこのあたりでと思い、前年度限りで降板することとしました。名残は尽きませんが。

今年度の芸能大会は新司会者原和正副会長の進行よろしきを得て、見事に終えることができました。

この行事がこれからも益々発展することを切に祈っております。

併せて「文教委員長」の役職も退任し、潮昭弘さんにこのあとを引き継いで頂いております。

どうか、よろしくお願いいたします。



新 文教委員長



潮 昭弘さん  
(大國尚寿会)

# 講演会 芸能大会 4. 9.29(木) ふるさと交流センター

## 講演会

### 「ウクライナ情勢および歴史について」

ピロゴヴァ・マリナーさん ウクライナ出身（北栄町在住）



歴史、文化のある美しい風土を持ったウクライナ。いまどうなっているのか……

祖国に残っている両親、弟を案ずる毎日を送っています。

講演を聴き、ある参加者は「新聞、TVなど報道は多いが、マリナーさんの説明でとても理解が深まった」と語っていました。

縁あって、県内で暮らして7年、上手な日本語でした。

## 今田智子さん写真展 (南部町・地域おこし協力隊)



講演会場では、海外経験の多い今田智子さんがウクライナの写真をたくさん展示されこの国をさらに身近に感じることができました。

## 芸能大会

司会・原和正（南部町老朽連副会長）（東西町）

### 出演者

(唄) 潮美津枝・石原宣子・大西くに子・安達美和子・深田契子・高橋恵美子・柏尾静江・古曳ゆき子・小藤律子（童唱会）

原和正・小倉栄子（東西町・鴨部） 景山信志（天津） 加藤定（宮前）

岡野信夫（東西町） 佐伯直美（東西町） 垂水英俊（宮前） 絹谷しずか（東西町）

小杉達男（東西町） 影岡節子（大国） 景山幸雄（宮前） 庄倉三保子（天津）

細田一雄（東西町） 亀原義己（大国） 潮昭弘（大国）

(踊・唄) 川上一葉・景山萬寿美（天津）

(踊) 小早川清美（東西町）

竹中幸子・遠藤清子・影岡節子・市川好美・

原美智子（老朽連踊りの会）

前谷志子・塚田とし子・深田契子・原美智子・

潮美津枝（大国コスモス会）

(銭太鼓) 原美智子・塚田とし子・深田契子・前谷志子  
(大国コスモス会)

(演奏) 吉村政記・井上武・白川明・内田勝・大飯喜富・青砥綾生（鴨部）



写真提供 今田 智子



撮影 大塚道夫 (天津百寿会)

# 活動報告 あれこれ

## 役員研修会

4.10.26(水) 船上山、三朝



今年度の改選で選出された、二人の新単位クラブ会長と一人の新委員長の参加を得て、役員研修会を実施しました。

後醍醐天皇が、流された隠岐から脱出し、鎌倉幕府を滅亡させる舞台となった秋の船上山の展望台から、くっきりと見えたその隠岐の島を眺め、この地の歴史を感じ取りました。

その後、三朝温泉に移動し、本部役員と一緒に今後の老ク連の活動などについて意見交換を行いました。

(原 和正)

## グラウンドゴルフ

4.11.10(木) 朝鍋 親水公園



### 南部町老ク連主催 個人戦大会

順位	クラブ名	氏名	打数
優勝	池野	雑賀 一男	36
準優勝	池野	吉岡 毅	37
3	池野	雑賀 藤重	39
4	東西町第二	岩成 勇	40
5	池野	妹尾 早苗	40
6	大国	山本 航	41
7	天津第二	大塚 賢一	41
8	田住	福井 瑞江	42
9	市山	石塚 佳子	42
10	東西町第一	野口 昭男	42

参加者 82名

9:00 開会式。天候は雲一つない絶好のコンディションとなった。庄倉会長から「好天気の中でできるのは、参加された皆さんの日頃のご精進のおかげです」とあいさつがあった。

ホールインワンは12個とやや少なかったが、参加者は真剣さもあり、笑顔もありで競技した。

11:00 プレー終了。(大塚 賢一)

## ウォーキング大会 雨天のため室内競技に変更

4.11.24(木) 町民体育館(法勝寺)



予定していた法勝寺コースのウォーキングは雨天でやむなく中止。館内で、ゲーム(ニチレクボール)を楽しんだ。参加者43名。

初体験の人が多かったが、誰にでも簡単にできて、結構おもしろい。

得点を出すために、作戦や頭脳プレーが必要で、頭の体操にもなる。

各地区の活動でもこれをやってみればみんなに喜ばれるだろう。

ビンゴゲームの景品や、参加賞までしっかり頂いて楽しいひとときであった。

(協力：南部町社会福祉協議会)

## 女性委員会「雑巾運動」

4.11.28(月)

(取材：南部町健康福祉課)

10年以上前から、毎年「女性会員1人1枚雑巾運動」で作成、または集めた雑巾やタオルを町内の福祉施設等へお届けしています。これは「何か私たちでお役に立てることができないか」という声からはじまったものです。

今年もたくさんの雑巾等が集まり、西伯小学校、すみれこども園、ゆうらくへお届けしました。皆様は、「コロナ禍で雑巾など使用することが多くあり、大切に使用させていただきます」と笑顔で受け取られました。

庄倉会長は「皆様のお役に立つのでしたら幸いです」と話されました。南部町老人クラブ連合会では、これからも地域の皆様のお役に立てるよう、活動して参ります。



南部町立西伯小学校  
(安達教頭先生：写真右)



南部町立すみれこども園  
(道川園長先生：写真左)



伯耆の国 特別養護老人ホームゆうらく  
(鬼村総務課長：写真左)



「寿」 パッチワーク 三好次子(天津百寿会)

## 老人クラブ60周年

老人クラブは国の制度として創立され、今に至っています。現在各市町村で、高齢者活性化などの期待を担って活動しています。

南部町の場合、健康福祉課の所管で、併せて社会福祉協議会の支援も頂く形になっております。

いつ、どのように始まったのか今では詳しく知る人もないようですが、先頃、次のような報道がありました。60年前といえは昭和37年のことになります。

天皇、皇后両陛下は11月8日、

東京・両国国技館を訪れ、全国老人クラブ連合会の創立60周年

## 編集後記

昨年4月から、一日の始まりが一変した。孫娘の高校入学によりその送迎を始めた。ちょうど通勤時間帯に重なる。時間に間に合うようドキドキハラハラしながらの運転。自分の通勤時代の時と重ねながら思うに、道路は以前の方がもっと混んでいたような気がする。

いま一番感じるのは、自転車の存在。自転車利用者のルール違反の多

いことだ。右側通行、歩道の通行、信号無視、一時停止無視など、米子に着くまでも数多くの違反が見受けられる。近年自転車事故が多いのもよく分かる。

しかしその中で、高校生の自転車通学の集団(12〜13名)による走行マナーの良さに心を打たれている。一列走行、左側走行、信号、一時停止の順守、など。ルールを守った走行は違反の多い中で特に目を引く。自分はいつもこの光景に感動しながら見送っている。

## 原稿募集中

会員さんからの投稿をお待ちしています。各クラブの活動紹介、絵、写真、書、感想文などお寄せください。この広報紙「ふれあい」を楽しんでいきましょう。

## 新会員 加入大歓迎。

老ク連 新会員 加入呼びかけ

・資格 60歳以上の方。  
生きがいと仲間づくり、健康づくりを目指して楽しく活動しています。

令和4年11月1日より、自転車安全利用五則(1.車道が原則、左側を通行、歩道は例外、歩行者を優先)を守って安全確認 3.夜間はライトを点灯 4.飲酒運転は禁止 5.ヘルメットを着用)が新しくなった。自転車は免許が要らないためかルールに対する意識が薄い。自転車は被害者にも加害者にもなりうる。誰もが手軽に利用できる交通手段ではあるが、特に我々高齢者が利用する際は充分注意し、ルールを守りながら楽しむよう心がけたい。

(S・M)

編集委員(総務委員会)

野口賢治 岩田 惇  
植田共栄 前田慎三  
田浪照雄 垂水英俊  
吉持佐知子

記念大会に出席された。陛下はあいさつで「経験と知恵を若い世代に伝えつつ、老人クラブが、高齢者の社会参加や明るい地域づくりのために、重要な役割を果たしていくことを期待する」と述べた。

(日本海新聞 4・11・9)

共同通信配信

